

11 月は薬剤耐性菌対策推進月間です

－ 抗菌剤は慎重に使用しましょう－

薬剤耐性菌とは？

本来効くはずの抗菌剤が効かない細菌のことを薬剤耐性菌と呼びます。世界的に、薬剤耐性菌による被害は拡大しており、大きな問題となっています。

どんな問題が起こるのか？

これまで抗菌剤が効いていた病気の治療が難しくなります。そのため、病気が重症化・長期化する危険性が高くなります。

人の医療との関係

薬剤耐性菌は、人の医療でも大きな問題となっています。畜産物を介して人へ拡大する危険性も考えなければなりません。

抗菌剤の使用が薬剤耐性菌を生み出してしまう

抗菌剤は、動物の健康を守る重要なものです。しかし、薬剤耐性菌拡大の背景には、不適切な抗菌剤の使用があると考えられています。

そこで

国産畜産物に対する消費者からの信頼に応えるためにも

関係者が連携し、抗菌剤を慎重に使用する取り組みが必要です

「抗菌剤を慎重に使用する取り組み」について

ワクチンや飼養環境を整えることで病気を予防

- ・動物の健康を維持し、抗菌剤を使う機会を減らしましょう

抗菌剤を使う際は、有効な抗菌剤を計画的に

- ・細菌検査は、抗菌剤を選ぶ手がかりになります
- ・同じ抗菌剤を長期間使用することは避けましょう

抗菌剤の制限、清掃・消毒の徹底により感受性が改善（効かなくなった抗菌剤が再び効くようになる）した事例があります。

検査や対策についての御相談、御不明な点は家畜保健衛生所まで

家畜保健衛生所 業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL 0743-59-1700 / FAX 0743-59-1740